

# 地球温暖化防止への取り組み

地球温暖化防止に向けて、各サイトごとにそれぞれCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けて日々、努力を続けています。

## 【 2013年度の目標 】

省エネ法に準拠して  
エネルギー原単位で  
2012年度比1%削減する。



## 【 2013年度の結果 】

2012年度比3%削減

### 2013年度の取り組み

経営ビジョンと「2020年度を到達点とする環境目標」にのっとり、低炭素社会の実現に向けた操業におけるCO<sub>2</sub>排出量削減活動を続けています。

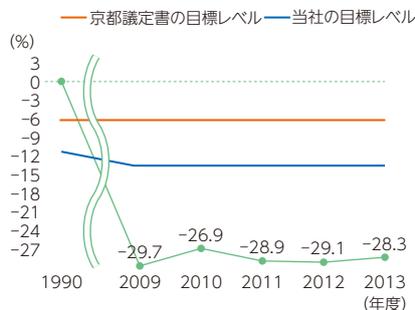
その結果、2013年度は、2012年度比1%削減という目標に対し、3%削減と目標を上回る削減率を達成することができました。

この数値は、夏季ピーク電力削減の継続、工場における生産の効率化による製造時間短縮や空調機・ボイラー燃料転換など省エネ機器の導入および各事業所・工場の日々の節電を継続することにより、達成することができました。

#### ■ 1990年度比 CO<sub>2</sub>排出量関連指数の推移



#### ■ 1990年度比 CO<sub>2</sub>排出量関連指数の推移



### 2013年度各サイトの取り組み

2013年度に、各サイトにおいてCO<sub>2</sub>排出削減のために実施した代表的な施策を紹介します。

#### ① 栃木

- ・第4工場チラーの省エネ化
- ・第3ボイラーの燃料種変更(重油→都市ガス)

#### ② 岡山

- ・省エネルギーの徹底(冷暖房温度管理、照明切、不必要運転停止)
- ・溶解攪拌時の攪拌機電力削減
- ・仕込み時間短縮による攪拌機電力削減
- ・樹脂工程払い出し温度変更による攪拌機電力削減

#### ③ 広島

- ・事務棟と保安棟の空調機更新
- ・休憩時間の消灯
- ・空調温度(夏季28℃、冬季20℃)の遵守
- ・塗装など大型機器使用の集約可動による電力削減
- ・こまめな消灯

#### ④ 愛知

- ・業務、食堂、第3計器室、第2技研エアコン更新(省エネタイプ)による電力使用量削減
- ・生産工程短縮・設備機器運転時間見直し・停止等による電力使用量削減
- ・媒体ボイラー運転条件変更・休出時の蒸気使用・温水器運転プログラム見直し等(ガス使用量削減)

#### ⑤ 千葉

- ・コンプレッサーの省エネ
- ・チラーユニットの省エネ
- ・蒸気ボイラ設定圧力見直し
- ・ワニスタンクヒーターの運転管理
- ・エア・漏れ・スチーム漏れ早期発見・処置
- ・工場冷風温度設定変更
- ・ユーティリティ運転管理

#### ⑥ 大阪

- ・第1変電所キュービクル化の実施
- ・低温倉庫の庫内温度設定の見直し

#### ⑦ 寝屋川

- ・夏季節電対策(室温28℃以上の厳守、評価機器停止、屋根散水など)
- ・冬季節電活動(室温20℃管理、セーターひざ掛けなどの徹底)
- ・デマンド管理の徹底(放送にてエアコンなど停止)
- ・居室LED照明の採用
- ・エア配管漏れ対策

#### ⑧ 本社

- ・エアコン運転時間の短縮、温度の省エネ設定
- ・電気機器の集約利用
- ・照明器具の間引き

#### ⑨ 東京

- ・夏季の省エネ対応
- ・CO<sub>2</sub>排出量報告を作成し、各部門のエネルギー使用を抑制